

学校だより

済美



南砺市立城端小学校
令和4年6月24日

人のために行動する子

タイトル「人のために行動する子」は、本年度の重点目標における「徳」の目指す子供像。達成に向けての行動目標は「相手の気持ちを考えて行動することができる」です。子供同士、知恵と力を合わせて生活する中で、この目標に近付けるでしょうし、このような子供が増えることで、チームJの絆が深まると考えています。

(目指す子供像と行動目標は、学校ホームページのトップページ「目指す子供像」からご覧いただけます。)

先日、生活科の学習で6名の2年生と共に城端温水プールに出かけました。天気も回復し、子供たちのことを知る絶好の機会ということで気分は上々。道中お会いした地域の方に朝のご挨拶をしたところ、一緒に歩いている子供たちも明るく元気な声で「おはようございます」とご挨拶。するとその方から、「ありがとうございます。私にまで挨拶をしてくれてうれしいです。元気をもらいました。」とお返しをいただきました。子供たちもにっこり笑顔です。

子供たちの笑顔は、「喜んでもらえた」「役に立てた」という思いによるものでしょう。「人のために行動できた」と実感できるのは、相手のためになったと自身で感じるよりは、むしろ、相手からさりげない感謝の言葉を受けたときの方が多くはないかと思いました。

人から優しく親切にしてもらったとき、即座に感謝の気持ちを伝えることは案外難しいものです。時には「すみません」と謝りの言葉を発してしまうことさえあります。チームJのみんなが素直に「ありがとう」と言える人に、さらに、感謝の気持ちを「うれしいよ」「元気が出たよ」「助かるよ」と自分の気持ちを表現する言葉で伝えられる人になれるといいなと思います。まずは大人から実践。その姿を見て子供たちは学んでいくのだと考えます。

(本年度は巻頭言を校長が担当することとしました。 犀川)

< 7月の主な行事予定 >

- 1日(金) 集団登校
- 4日(月) 委員会
- 11日(月) さわやかデー・学校集金
クラブ活動
- 15日(金) 集団登校・地区児童会・集団下校
- 19日(火) 委員会・着衣泳
- 22日(金) 終業式・給食終了
- 25日(月) 夏季休業開始・保護者会
(南山田・北野)
- 26日(火) 保護者会(城端・大鋸屋・蓑谷)



< 8月の主な行事予定 >

- 2日(火)・3日(水) 6年生立山登山
- 26日(金) 2学期始業式

< 9月の主な行事予定 >

- 1日(木) 集団登校
- 8日(木) 市芸術鑑賞会(4年生)
- 9日(金) 避難訓練(休憩時火災)
さわやかデー・学校集金
- 15日(木) 集団登校
- 25日(日) PTA親子清掃(未)
- 29日(木) 校内学習発表会
- 30日(金) 集団登校

～ぼかぼかコラム 5年生の取組より～

5年生は、5月30日に田植え、6月6日・7日に集団宿泊学習を行いました。

田植えでは、4月に種籾から育てているもち米の苗を植えました。一人一人が植え方を調べ、友達と情報を共有しながら苗を植える姿から、お互いの知恵を合わせる様子が見られました。

集団宿泊学習では、イニシアティブゲームやオリエンテーリング、野外炊飯等、班で協力する活動を行いました。班の仲間を信じ、協力してゲームを行ったり、それぞれの役割に責任をもってカレーライスを作ったりしました。

今後の学校生活でも、「心をひとつに チームJ5」を目指して課題に取り組んでいけるようサポートしていきたいと思います。
(5年担任 砂土居 裕貴)

教育活動から

6/6 (月)・6/7 (火) 集団宿泊学習

宿泊学習では、仲間と協力して館内オリエンテーリングやカレーライスづくり等を行いました。



6/10 (金) 校内芸術鑑賞会

城端教育振興会のご支援で劇団青い鳥による「正劇 アラビアンナイト～千夜一夜物語～」を鑑賞しました。



聞いている子供も主役！

本年度、本校では「考えと気持ちを聞き合うことができる」子供の姿を目指しています。その中でも私たちは、聞き手の子供を育てていきたいと思っています。朝の会や授業等様々な場面で子供たちには聴き合いの場面があります。



先日、私が1年教室前を通りがかった時に、子供が朝の会の日直の話で家で飼っている犬の話をしていました。「その犬は10歳なの。」と言うと、急に「分かった。少し悲しいんでしょう？だってぼくの家でも10歳で死んでしまった犬がいるよ。」と話しかけると、「えー！」と犬の命の短さに驚きの声があがりました。聞いている子供たちは真剣です。日直の女の子は「うん。あとちょっとと考えると悲しい。」と思いを分かってもらったことがうれしい様子でした。「ぼくの家では、11歳まで生きたよ（だから大丈夫!）」「カブトムシはもっと早く死ぬよ（いろいろな命があるよ）」「(そんなことがあるなんて) 知らなかったな。」等子供たちは一斉につぶやき始めました。

話し手にとっては、友達に気持ちを分かってもらった喜びはもちろんのこと、聞き手にとっても新しい世界を知ったうれしさがあふれ、朝から活気のある温かい時間が流れました。学校で集団だからこそできる『ことば』を通してつながり合う力を、チームJ (Johana) で育てていきたいと思います。また、ご家庭や地域でも『聞いて』みてくださいね。

(柳田 由佳)